

地すべり対策事業 滝の沢第三地区

やまがたけん もがみぐん おおくらむら おおあざみなみやま
 《山形県 最上郡 大蔵村 大字南山 地内》

地区完了

《地区概要》

滝の沢第三地区は、大蔵村大字南山に位置し、赤松川の右岸に沿っています。

昔から度々地すべりが発生していますが、江戸時代末期の地すべりでは、民家10軒以上が移転しています。また、昭和54年の融雪期には、幅100m、長さ500mの地すべりが発生しました。

土質は地下水の浸透しやすいシラス層であるため、各種地すべり防止工事を実施し、農地並びに民生を保全する防災対策を行いました。

《事業概要》

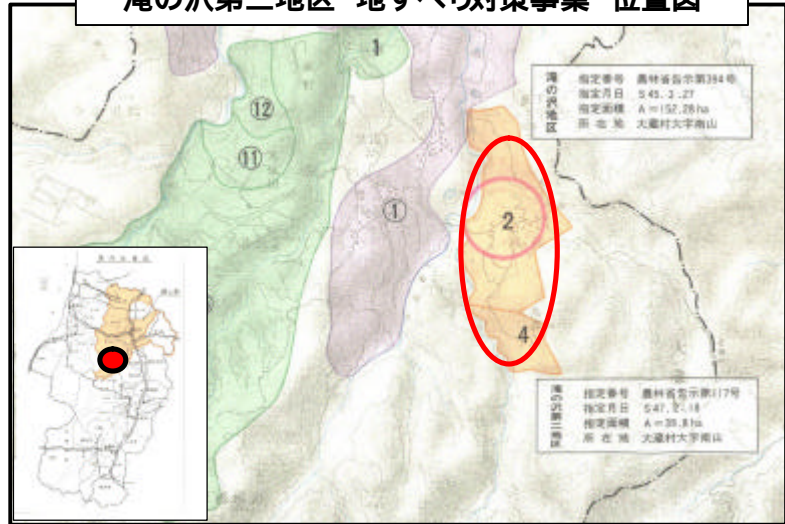
対策工	地下水排除工	集水井 N= 8基
	地表水排除工	水路工 L= 4,244m
	抑止工	枠工他 L= 313m
	侵食防止工	堰堤 N= 2基
事業効果	保全対象	192.08ha (宅地:1.04ha , 耕地:65.76ha , 山林:50.98haほか)
工期		平成6年度 ~ 平成20年度

《位置》

滝の沢、滝の沢第二地区
 指定番号：農林水産省告示第117、394号
 指定月日：S45.3.27 S47.2.18
 指定面積：A = 192.08ha



滝の沢第三地区 地すべり対策事業 位置図



《主な対策工事》

